

大阪港新島地区埋立事業及び大阪沖埋立処分場建設事業に係る

事後調査報告書

(令和7年5月分【埋立中共通調査①】)

【大気質、水質（一般項目）】

国土交通省 近畿地方整備局

大阪港湾局

大阪湾広域臨海環境整備センター

目 次

I 事後調査の概要

1. 調査概要	I - 1
2. 工事の実施状況	I - 3
3. 調査結果の概要	I - 4

II 事後調査結果

1. 大気質	II - 1
2. 水質	II - 9

I 事後調査の概要

1. 調査概要

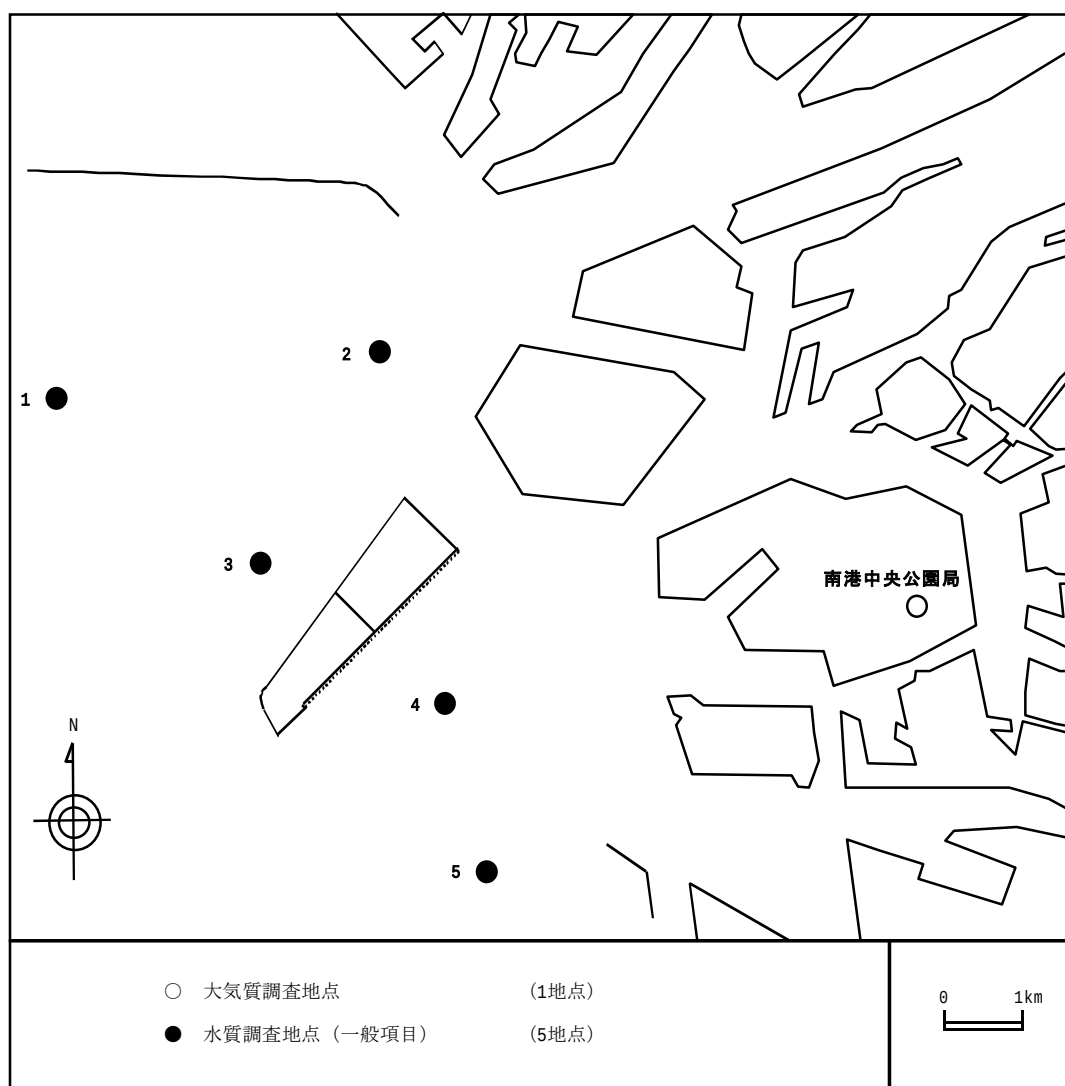
「大阪港新島地区埋立事業及び大阪沖埋立処分場建設事業に係る事後調査計画」に基づく令和7年5月（大気質、水質）の事後調査の概要は表－1に、調査地点の位置は図－1に示すとおりである。

表－1（1）事後調査の概要（埋立地周辺における調査 大気質）

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
二酸化硫黄(SO ₂) 窒素酸化物(NO ₂ 、NO) 浮遊粒子状物質(SPM) 風向・風速	1点(南港中央公園局)	5月1日～31日	通年連続

表－1（2）事後調査の概要（埋立地周辺における調査 水質（一般項目））

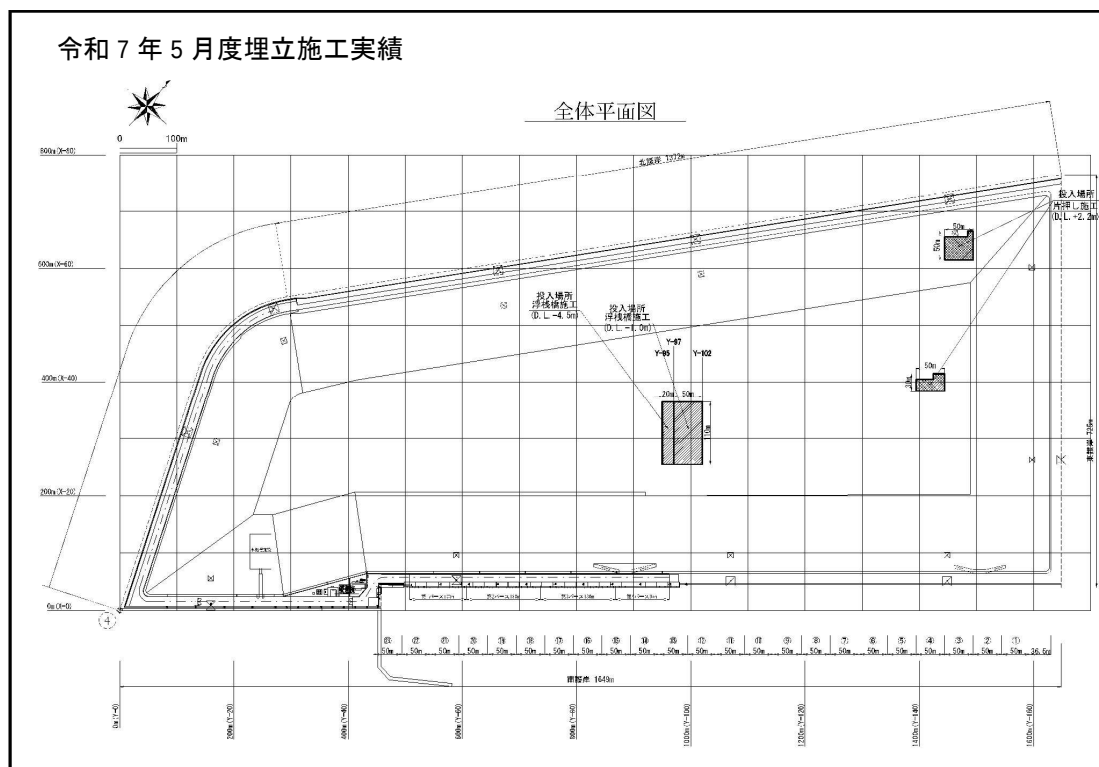
調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
●生活環境項目 水素イオン濃度(pH) 化学的酸素要求量(COD) 溶存酸素量(DO) 全窒素(T-N) 全磷(T-P)	5点×2層 【1, 2, 3, 4, 5】 上層:海面下1m 下層:海底面上2m	5月8日	1回／月
●その他の項目 透明度 水温 塩分 濁度 浮遊物質量(SS) クロロフィルa			



図－1 大気質・水質(一般項目)の調査地点

2. 工事の実施状況

令和7年5月の工事の実施状況は、図－2に示すとおりである。



埋立量(m³)	進捗率(%)
8,196,818.4	58.7

埋立容量(計画量) : 13,975,000 m³

図－2 工事の実施状況（大阪沖処分場平面図）

3. 調査結果の概要

埋立地周辺における調査

(1) 大気質 [大気質様式第1号～8号]

1) 二酸化硫黄 (SO₂) 【環境基準値：日平均値 0.04ppm 以下、1時間値 0.1ppm 以下】

二酸化硫黄(SO₂)の月平均値は、0.003ppm であった。また、日平均値の最高値は 0.005ppm、1時間値の最高値は 0.007ppm であり、環境基準値を下回っていた。

2) 二酸化窒素 (NO₂) 【環境基準値：日平均値 0.04～0.06ppm のゾーン内またはそれ以下】

二酸化窒素(NO₂)の月平均値は、0.018ppm であった。また、日平均値の最高値は 0.036ppm であり、環境基準値を下回っていた。

3) 浮遊粒子状物質 (SPM) 【環境基準値：日平均値 0.10mg/m³ 以下、1時間値 0.20mg/m³ 以下】

浮遊粒子状物質 (SPM) の月平均値は、0.016mg/m³ であった。また、日平均値の最高値は 0.028mg/m³、1時間値の最高値は 0.045mg/m³ であり、環境基準値を下回っていた。

注：大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

(2) 水質

①一般項目 [水質様式第1号]

1) 水素イオン濃度 (pH) 【環境基準値：7.8 以上 8.3 以下】

水素イオン濃度 (pH) は上層で 8.1～8.2、下層で 7.9～8.0 であり、上層及び下層ともに全ての調査地点において環境基準値の範囲内であった。

2) 化学的酸素要求量 (COD) 【環境基準値：3mg/L 以下】

化学的酸素要求量 (COD) は上層で 3.2～4.7mg/L、下層で 1.4～2.1mg/L の範囲であり、上層では全ての調査地点において環境基準値を上回っていたが、下層では全ての調査地点において環境基準値を下回っていた。

環境基準値を超過した調査結果は、上層の調査地点 1 (3.6mg/L)、調査地点 2 (4.1mg/L)、調査地点 3 (3.2mg/L)、調査地点 4 (4.7mg/L) 及び調査地点 5 (3.4mg/L) であった。事業実施前の当海域における水質調査の結果（平成 12 年度）の上層の 1.6～4.9mg/L であり、この範囲内にあるため、本事業による影響は非常に小さいと考えられる。

3) 溶存酸素量 (DO) 【環境基準値：5mg/L 以上】

溶存酸素量 (DO) は上層で 8.3～9.2mg/L、下層で 6.0～8.1mg/L の範囲であり、全ての調査地点において環境基準値を上回っていた。

4) 全窒素 (T-N) 【環境基準値：0.6mg/L 以下】

全窒素 (T-N) は上層で 0.27～1.0mg/L、下層で 0.29～0.76mg/L の範囲であり、上層では過半数の調査地点において環境基準値を上回っており、下層では一部の調査地点において環境

基準値を上回っていた。

環境基準値を超過した調査結果は、上層の調査地点 1 (1.0mg/L)、調査地点 4 (1.0mg/L) 及び調査地点 5 (0.61mg/L)、下層の調査地点 1 (0.76mg/L) であった。事業実施前の当海域における水質調査の結果（平成 12 年度）は上層で 0.46～2.1mg/L、下層で 0.29～0.82mg/L であり、この範囲内にあるため、本事業の影響は非常に小さいと考えられる。

5) 全燐 (T-P) 【環境基準値：0.05mg /L 以下】

全燐 (T-P) は上層で 0.029～0.071mg/L、下層で 0.025～0.047mg/L の範囲であり、上層では過半数の調査地点において環境基準値を上回っていたが、下層では全ての調査地点において環境基準値を下回っていた。

環境基準値を超過した調査結果は、上層の調査地点 2 (0.063mg/L)、調査地点 4 (0.071mg/L) 及び調査地点 5 (0.052mg/L) であった。事業実施前の当海域における水質調査の結果（平成 12 年度）は上層で 0.021～0.15mg/L であり、この範囲内にあるため、本事業の影響は非常に小さいと考えられる。

6) 濁度

濁度は上層で報告下限値未満 (<1 度 (カリン)) ～2 度(カリン)、下層で 2～3 度(カリン)の範囲であった。

7) 浮遊物質質量 (SS)

浮遊物質質量 (SS) は上層で 3～7mg/L、下層で 3～6mg/L の範囲であった。

8) クロロフィル a

クロロフィル a は上層で 3.4～7.1µg/L、下層で 0.6～2.5µg/L の範囲であった。

《 参 考 》

■環境基準値等（本報告関係分）

1. 環境基準

(1)大気質

項目	基準値
二酸化硫黄 (SO ₂)	1 時間値の 1 日平均値が 0.04ppm 以下であり、かつ、 1 時間値が 0.1ppm 以下であること。
二酸化窒素 (NO ₂)	1 時間値の 1 日平均値が 0.04ppm から 0.06ppm までの ゾーン内又はそれ以下であること。
浮遊粒子状物質 (SPM)	1 時間値の 1 日平均値が 0.10mg/m ³ 以下であり、かつ、 1 時間値が 0.20mg/m ³ 以下であること。

(2)水質

①水質（海域）

類型	項目	基準値
B	水素イオン濃度 (pH)	7.8 以上 8.3 以下
	化学的酸素要求量 (COD)	3mg/L 以下
	溶存酸素量 (DO)	5mg/L 以上
	n-ヘキサン抽出物質 (油分等)	検出されないこと
III	全窒素 (T-N)	0.6mg/L 以下
	全磷 (T-P)	0.05mg/L 以下

注) 1. 水素イオン濃度、化学的酸素要求量、溶存酸素量及び n-ヘキサン抽出物質の基準値は日間平均値、全窒素及び全磷の基準値は年間平均値である。

2. 化学的酸素要求量の環境基準の評価方法については、次のとおり定められている。

公共用水域における環境基準（BOD 又は COD）の評価方法について（昭和 52 年環水管 52 号）

(1) 環境基準の水域類型を指定する際の水質測定結果については、年間を通じた日間平均値の全データのうち、あてはめようとする類型の基準値を満たしているデータ数を占める割合をもって評価するが、その割合が 75%以上ある場合、その基準に適合しているものと評価する。
なお、環境基準値と比較して水質の程度を判断する場合は、以下の方法により求めた「75%水質値」を用いるものとする。

75%水質値・・・年間の日平均値の全データをその値の小さいものから順に並べ 0.75×n 番目（n は日間平均値のデータ数）のデータ値をもって 75%水質値（0.75×n 番目が整数でない場合は端数を切り上げた整数番目の値をとる）とする。

(2) 環境基準点における水質測定結果の環境基準に対する適合性についての判断方法について
環境基準点において、年間を通じて環境基準に適合していたか否かを判断する場合には、(1)と同様に年間を通じた日間平均値の全データのうち 75%以上のデータが基準値を満足している基準点を適合しているものと判断する。

(3) 複数の環境基準点を持つ水域における水質測定結果の環境基準に対する適合性についての判断方法について

これについては、当該環境基準類型あてはめ水域内のすべての環境基準地点において環境基準に適合している場合に、当該水域が環境基準を達成しているものと判断する。

2. 事業実施前調査結果（平成 12 年度・水質（一般項目））

項 目		事業実施前調査 (平成 12 年度・調査地点 1～5)	
		最小値 ～ 最大値 (m/n)	平均値 (m/n)
水素イオン濃度 (pH) 〔－〕	上層	7.7 ～ 8.6 (13/60)	—
	下層	7.8 ～ 8.3 (0/60)	—
化学的酸素要求量 (COD) 〔mg/L〕	上層	1.6 ～ 4.9 (34/60)	3.2 ～ 3.9 (5/5)
	下層	1.2 ～ 3.6 (4/60)	2.0 ～ 2.2 (0/5)
溶存酸素量 (DO) 〔mg/L〕	上層	5.2 ～ 14 (0/60)	8.6 ～ 9.8
	下層	0.6 ～ 11 (14/60)	6.2 ～ 6.9
全窒素 (T-N) 〔mg/L〕	上層	0.46 ～ 2.1	0.91 ～ 1.1 (5/5)
	下層	0.29 ～ 0.82	0.44 ～ 0.49 (0/5)
全磷 (T-P) 〔mg/L〕	上層	0.021 ～ 0.15	0.061 ～ 0.098 (5/5)
	下層	0.020 ～ 0.25	0.038 ～ 0.063 (1/5)

- 注) 1. 「最大～最小」の値は、調査地点 1～5 における全調査地点の最小値と最大値を示す。
 2. m：環境基準値を満たしていないデータ数、n：総データ数を示す。
 3. 「平均値」の値は、各調査地点における年平均値の最小～最大を示しているが、化学的酸素要求量の「平均値」は各調査地点における 75% 値の最小～最大を示す。

Ⅱ 事後調査結果

大気質様式第 1 号（埋立地関連）

大気質測定結果総括表〔令和 7 年 5 月分〕

項 目		測 定 局
		南港中央公園
二酸化硫黄	有効測定日数（日）	31
	日平均値が0.04ppmを超えた日数（日）	0
	測定時間数（時間）	740
	1 時間値が0.1ppmを超えた時間数（時間）	0
二酸化窒素	有効測定日数（日）	31
	日平均値が0.04ppm以上0.06ppm以下の日数（日）	0
	日平均値が0.06ppmを超えた日数（日）	0
	測定時間数（時間）	741
	1 時間値が0.1ppm以上0.2ppm以下の時間数（時間）	0
	1 時間値が0.2ppmを超えた時間数（時間）	0
浮遊粒子状物質	有効測定日数（日）	31
	日平均値が0.10mg/m ³ を超えた日数（日）	0
	測定時間数（時間）	740
	1 時間値が0.20mg/m ³ を超えた時間数（時間）	0
備 考		

注: 大気質の調査結果(大阪市環境局による常時測定結果)は、現時点では未確定値である。

二酸化硫黄測定結果 [令和 7 年 5 月分]

測 定 局		南港中央公園	
項 目		日 平 均 値 (ppm)	1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)
日 別 値	1 (木)	0.004	0.005
	2 (金)	0.003	0.003
	3 (土)	0.003	0.005
	4 (日)	0.003	0.004
	5 (月)	0.004	0.005
	6 (火)	0.003	0.004
	7 (水)	0.003	0.003
	8 (木)	0.003	0.004
	9 (金)	0.003	0.005
	10 (土)	0.003	0.005
	11 (日)	0.003	0.004
	12 (月)	0.004	0.005
	13 (火)	0.004	0.006
	14 (水)	0.004	0.007
	15 (木)	0.004	0.004
	16 (金)	0.004	0.006
	17 (土)	0.003	0.004
	18 (日)	0.004	0.005
	19 (月)	0.004	0.005
	20 (火)	0.005	0.007
	21 (水)	0.004	0.006
	22 (木)	0.003	0.003
	23 (金)	0.003	0.004
	24 (土)	0.003	0.004
	25 (日)	0.003	0.006
	26 (月)	0.003	0.003
	27 (火)	0.003	0.005
	28 (水)	0.003	0.004
	29 (木)	0.004	0.005
	30 (金)	0.003	0.004
	31 (土)	0.003	0.004
有 効 測 定 日 数 (日)		31	
測 定 時 間 (時間)		740	
月 平 均 値 (ppm)		0.003	
日 平 均 値 の 最 高 値 (ppm)		0.005	
1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)		0.007	
1 時 間 値 が 0.1ppm を 超 え た 時 間 数 (時間)		0	
日 平 均 値 が 0.04ppm を 超 え た 日 数 (日)		0	

注：1.1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。

2.大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

大気質様式第3号 (埋立地関連)

一酸化窒素測定結果 [令和 7 年 5 月分]

測 定 局		南港中央公園	
項 目		日 平 均 値 (ppm)	1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)
日 別 値	1 (木)	0.012	0.042
	2 (金)	0.002	0.008
	3 (土)	0.001	0.005
	4 (日)	0.001	0.002
	5 (月)	0.001	0.003
	6 (火)	0.001	0.003
	7 (水)	0.001	0.005
	8 (木)	0.003	0.009
	9 (金)	0.008	0.050
	10 (土)	0.004	0.029
	11 (日)	0.000	0.002
	12 (月)	0.002	0.004
	13 (火)	0.010	0.059
	14 (水)	0.004	0.019
	15 (木)	0.002	0.006
	16 (金)	0.005	0.018
	17 (土)	0.004	0.023
	18 (日)	0.002	0.009
	19 (月)	0.003	0.011
	20 (火)	0.003	0.009
	21 (水)	0.009	0.031
	22 (木)	0.004	0.019
	23 (金)	0.002	0.006
	24 (土)	0.001	0.003
	25 (日)	0.001	0.002
	26 (月)	0.002	0.005
	27 (火)	0.005	0.013
	28 (水)	0.003	0.011
	29 (木)	0.004	0.012
	30 (金)	0.002	0.006
	31 (土)	0.001	0.002
有 効 測 定 日 数 (日)		31	
測 定 時 間 (時間)		741	
月 平 均 値 (ppm)		0.003	
日 平 均 値 の 最 高 値 (ppm)		0.012	
1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)		0.059	

注：1.1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。

2.大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

大気質様式第4号（埋立地関連）

二酸化窒素測定結果 [令和7年5月分]

測 定 局		南港中央公園	
項 目		日 平 均 値(ppm)	1 時 間 値 の 最 高 値(ppm)
日	1 (木)	0.036	0.072
	2 (金)	0.017	0.037
	3 (土)	0.013	0.023
	4 (日)	0.010	0.021
	5 (月)	0.013	0.024
	6 (火)	0.010	0.017
	7 (水)	0.009	0.019
	8 (木)	0.023	0.049
	9 (金)	0.030	0.052
	10 (土)	0.016	0.038
別	11 (日)	0.009	0.017
	12 (月)	0.012	0.023
	13 (火)	0.027	0.048
	14 (水)	0.025	0.044
	15 (木)	0.021	0.032
	16 (金)	0.029	0.043
	17 (土)	0.013	0.035
	18 (日)	0.013	0.024
	19 (月)	0.023	0.049
	20 (火)	0.017	0.030
値	21 (水)	0.020	0.025
	22 (木)	0.014	0.029
	23 (金)	0.018	0.033
	24 (土)	0.015	0.024
	25 (日)	0.008	0.018
	26 (月)	0.014	0.021
	27 (火)	0.022	0.036
	28 (水)	0.020	0.034
	29 (木)	0.027	0.058
	30 (金)	0.014	0.027
	31 (土)	0.010	0.014
有 効 測 定 日 数 (日)		31	
測 定 時 間 (時間)		741	
月 平 均 値 (ppm)		0.018	
日 平 均 値 の 最 高 値 (ppm)		0.036	
1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)		0.072	
1 時 間 値 が 0.2ppm を 超 え た 時 間 数 (時間)		0	
1 時 間 値 が 0.1ppm 以上 0.2ppm 以下 の 時 間 数 (時間)		0	
日 平 均 値 が 0.06ppm を 超 え た 日 数 (日)		0	
日 平 均 値 が 0.04ppm 以上 0.06ppm 以下 の 日 数 (日)		0	

注：1.1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。

2.大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

大気質様式第5号 (埋立地関連)

窒素酸化物（NO+NO₂）測定結果 [令和7年5月分]

測 定 局		南港中央公園		
項 目		日 平 均 値		1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)
		(ppm)	NO ₂ ／(NO+NO ₂)(%)	
日	1 (木)	0.048	74.9	0.114
	2 (金)	0.018	91.2	0.043
	3 (土)	0.015	92.8	0.024
	4 (日)	0.011	94.5	0.022
	5 (月)	0.014	94.4	0.024
別	6 (火)	0.011	93.6	0.020
	7 (水)	0.011	86.5	0.024
	8 (木)	0.026	88.9	0.054
	9 (金)	0.038	78.1	0.102
	10 (土)	0.020	79.7	0.067
	11 (日)	0.010	96.1	0.018
	12 (月)	0.014	89.1	0.027
	13 (火)	0.036	72.9	0.103
	14 (水)	0.029	87.7	0.062
	15 (木)	0.023	90.0	0.035
	16 (金)	0.034	85.5	0.058
	17 (土)	0.017	74.7	0.058
	18 (日)	0.015	87.1	0.027
	19 (月)	0.026	88.9	0.053
	20 (火)	0.020	86.2	0.039
値	21 (水)	0.028	69.7	0.055
	22 (木)	0.019	76.3	0.048
	23 (金)	0.020	88.3	0.036
	24 (土)	0.016	92.5	0.027
	25 (日)	0.009	91.8	0.020
	26 (月)	0.016	88.6	0.022
	27 (火)	0.027	81.3	0.041
	28 (水)	0.022	87.7	0.045
	29 (木)	0.032	86.3	0.070
	30 (金)	0.016	88.3	0.031
	31 (土)	0.010	94.2	0.015
有 効 測 定 日 数 (日)		31		
測 定 時 間 (時間)		741		
月 平 均 値 (ppm)		0.021		
日平均値の最高値 (ppm)		0.048		
1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)		0.114		
月平均値 NO ₂ ／(NO+NO ₂) (%)		84.3		

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば()書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。

2. $\text{NO}_2/(\text{NO}+\text{NO}_2)$ の算定方法は、下記のとおりである。

日(月)平均值 $\text{NO}_2/(\text{NO}+\text{NO}_2)=$

(NO及びNO₂が同時測定されている時間のNO₂濃度の日(月)間にわたる総和)／

(NO及びNO₂が同時測定されている時間のNO+NO₂濃度の日(月)間にわたる総和)

3. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

大気質様式第6号（埋立地関連）

浮遊粒子状物質測定結果 [令和7年5月分]

測 定 局		南港中央公園	
項 目		日 平 均 値 (mg/m ³)	1 時 間 値 の 最 高 値 (mg/m ³)
日 別 値	1 (木)	0.027	0.044
	2 (金)	0.013	0.019
	3 (土)	0.015	0.021
	4 (日)	0.013	0.020
	5 (月)	0.013	0.017
	6 (火)	0.007	0.016
	7 (水)	0.008	0.011
	8 (木)	0.010	0.014
	9 (金)	0.017	0.034
	10 (土)	0.012	0.021
	11 (日)	0.012	0.019
	12 (月)	0.020	0.027
	13 (火)	0.027	0.037
	14 (水)	0.023	0.033
	15 (木)	0.018	0.025
	16 (金)	0.018	0.024
	17 (土)	0.019	0.042
	18 (日)	0.022	0.033
	19 (月)	0.027	0.039
	20 (火)	0.028	0.045
	21 (水)	0.014	0.025
	22 (木)	0.010	0.022
	23 (金)	0.019	0.027
	24 (土)	0.013	0.022
	25 (日)	0.006	0.017
	26 (月)	0.010	0.013
	27 (火)	0.011	0.022
	28 (水)	0.010	0.018
	29 (木)	0.015	0.020
	30 (金)	0.011	0.016
	31 (土)	0.014	0.017
有 効 測 定 日 数 (日)		31	
測 定 時 間 (時間)		740	
月 平 均 値 (mg/m ³)		0.016	
日 平 均 値 の 最 高 値 (mg/m ³)		0.028	
1 時 間 値 の 最 高 値 (mg/m ³)		0.045	
1 時 間 値 が 0.20mg/m ³ を 超 え た 時 間 数 (時間)		0	
日 平 均 値 が 0.10mg/m ³ を 超 え た 日 数 (日)		0	

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。

2.大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

大気質様式第7号（埋立地関連）

気象観測結果（風向・風速）[令和7年5月分]

測 定 局		南港中央公園			
項 目		風 速			最多 風向 16方位
		平均 風速 (m/s)	最大風速		
			風速 (m/s)	風向 16方位	
日	1 (木)	0.9	2.0	WSW	WNW
	2 (金)	1.2	3.6	ESE	N
	3 (土)	0.9	1.5	SW	WNW
	4 (日)	1.5	3.3	WSW	WSW
	5 (月)	1.1	2.0	W	WNW
別	6 (火)	1.8	3.3	ESE	NE
	7 (水)	1.5	2.6	NNE	N
	8 (木)	1.0	1.9	E	NNE
	9 (金)	1.0	1.7	E	E
	10 (土)	1.7	4.2	W	W
	11 (日)	1.5	3.2	W	W
	12 (月)	1.2	2.6	WSW	WSW
	13 (火)	0.9	2.3	WSW	W
	14 (水)	0.8	3.0	WSW	WNW
	15 (木)	1.1	2.0	W	WNW
	16 (金)	0.5	1.3	WSW	WNW
	17 (土)	1.5	2.8	SW	SW
	18 (日)	1.0	2.2	WSW	W
	19 (月)	0.8	1.7	W	SW
	20 (火)	1.2	2.6	W	WNW
値	21 (水)	0.9	2.8	W	WNW
	22 (木)	1.6	4.4	N, NNE	N
	23 (金)	1.3	2.2	NNE	N
	24 (土)	1.5	2.9	ENE	NE
	25 (日)	1.4	3.2	WSW	NNW
	26 (月)	1.1	1.9	NNE	NNE
	27 (火)	1.3	2.9	ENE	NNE
	28 (水)	1.3	2.6	W	W
	29 (木)	0.9	2.2	E	E
	30 (金)	1.8	2.8	NE	NNE
	31 (土)	1.1	2.0	NNE	N
測 定 時 間 (時間)		744			
月 平 均 風 速 (m/s)		1.2			
月 最 大 風 速 (m/s)		4.4			
月 最 多 風 向 (16方位)		WNW			

注：1.1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。

2.大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

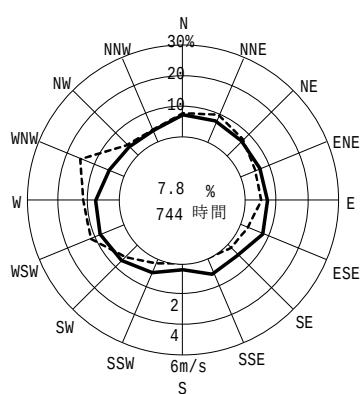
大気質様式第8号（埋立地関連）

風向別出現頻度及び風向別平均風速〔令和7年5月分〕

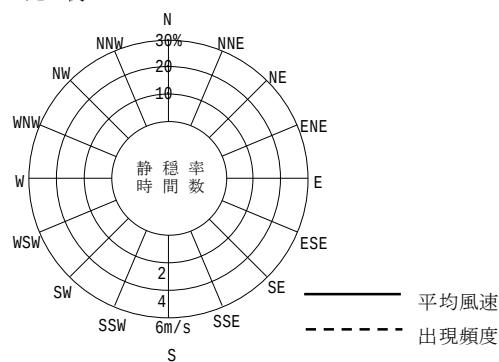
方位 項目	NNE	NE	ENE	E	ESE	SE	SSE	S	SSW	SW	WSW	W	WNW	NW	NNW	N	CALM	測定 時間数
度数	71	54	36	37	17	12	1	1	11	39	84	85	111	37	33	57	58	744
頻度 (%)	9.5	7.3	4.8	5.0	2.3	1.6	0.1	0.1	1.5	5.2	11.3	11.4	14.9	5.0	4.4	7.7	7.8	-
平均風速 (m/s)	1.5	1.3	1.3	1.4	1.5	0.9	1.0	0.4	0.9	1.4	1.6	1.5	1.0	0.8	0.8	1.4	0.2	-

測定局：南港中央公園局

風向風速計高さ：14.2m



凡例



注：大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

風配図〔令和7年5月分〕

水質様式第 1 号

水質調査結果（一般項目）〔令和 7 年 5 月分〕

調査日：令和7年5月8日

調査点 項目		1	2	3	4	5	最小値	～	最大値	平均値
時刻		8:16	7:55	8:34	8:24	8:00	-			-
透明度 [m]		1.8	1.9	2.5	1.9	2.8	1.8	～	2.8	2.2
水温 [°C]		15.1	15.4	15.7	15.5	15.1	15.1	～	15.7	15.4
		14.8	14.2	14.7	14.0	14.9	14.0	～	14.9	14.5
塩分 [－]		27.0	28.4	31.2	25.9	28.9	25.9	～	31.2	28.3
		32.8	32.7	32.7	32.6	32.7	32.6	～	32.8	32.7
濁度 [度(カリン)]		1	1	<1	2	1	<1	～	2	1
		3	2	2	2	2	2	～	3	2
浮遊物質 (SS) [mg/L]		4	6	6	7	3	3	～	7	5
		4	3	6	6	4	3	～	6	5
水素イオン濃度 (pH) [－]		8.1	8.1	8.1	8.2	8.2	8.1	～	8.2	-
		8.0	8.0	8.0	7.9	8.0	7.9	～	8.0	-
化学的酸素要求量 (COD) [mg/L]		3.6	4.1	3.2	4.7	3.4	3.2	～	4.7	3.8
		2.0	2.0	1.4	2.1	1.7	1.4	～	2.1	1.8
溶存酸素量 (DO)	濃度 [mg/L]	8.5	8.3	8.4	9.2	9.1	8.3	～	9.2	8.7
	飽和度 [%]	8.1	7.9	7.9	6.0	7.9	6.0	～	8.1	7.6
全窒素 (T-N) [mg/L]		100	99	102	108	108	99	～	108	103
		98	94	95	71	96	71	～	98	91
全窒素 (T-N) [mg/L]		1.0	0.27	0.49	1.0	0.61	0.27	～	1.0	0.67
		0.76	0.29	0.36	0.45	0.36	0.29	～	0.76	0.44
全磷 (T-P) [mg/L]		0.044	0.063	0.029	0.071	0.052	0.029	～	0.071	0.052
		0.025	0.029	0.025	0.047	0.029	0.025	～	0.047	0.031
クロロフィル a (chl.a) [μg/L]		7.1	5.9	3.9	6.8	3.4	3.4	～	7.1	5.4
		0.8	2.5	0.6	1.8	0.7	0.6	～	2.5	1.3

注) 上段：上層（海面下1m）
下段：下層（海底面上2m）

特記事項
